

# 区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

## 巻 頭 言

### 受験シーズン四方山話

金 雄 一

(アシステンツァ桜川診療所 所長)

受験シーズン真っ只中。そこで始めに三十余年前の私の受験エピソードに触れてみたい。

ここはとある大学医学部の受験会場。2次の面接試験が始まろうとしている。私を含む5名一組の受験生は横並びに椅子に座り、眼前には大きな机を挟んで面接官の教授陣が同じく5名並んでいる。受験生の端から順番に面接官が質問をしていく形式で、私は5名の真ん中に座っていた。

まず私から見て左端の受験生に最初の質問が投げかけられた。当然の如く、その質疑応答に背筋を伸ばして聞き入る。

「あなたはどのような医師になりたいですか？」直球でど真ん中に放り込んできた。

「シュバイツァー博士のように地域・僻地医療に携わる医師になりたいです。」と1番目の受験生。準備万全の如く答え、その理由を滔々と説明する。「センター返しだな…」と私が思ったのも束の間だった。

「基礎医学研究者についてどう思いますか？なりたくはないですか？」屹度基礎医学系と思われる別の教授が質問を継ぎ足した。少し口籠もる受験生。

「あなたは今、僻地医療に関わる臨床医の崇高さをその理由に挙げましたが、例えばペニ

シリンを発見された細菌学者は恐らく何億人という人間を救ったとは思いませんか？」

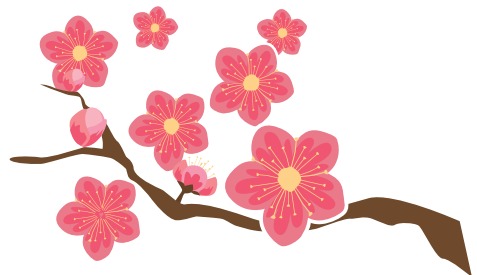
矢継ぎ早にまた別の教授が質問をする。

「僻地医療に関しては、例えば地域の交通網を整備して医療機関へのアクセスを改善するような行政的な解決策も考えられませんか？」

畳み掛けられて呆気にとられた表情のシュバイツァー博士、に憧れる受験生。他の受験生は皆小さく頷いていたが、必死に自分なりの回答を考えていたに相違ない。最早、「患者の気持ちに寄り添える医師になりたいです！」という私が思い付いた返答で許される雰囲気ではなかった。

2番目の受験生に質問が飛ぶ。

「あなたが訪れてみたい都市や国はありますか？その理由も述べて下さい。」どうやら受験生1名につき一つの質問が宛がわれるらしい。にも拘らず同様に回答を考える私。やや年配と思しき2番目の受験生の卒のない返答を聞きながら、私自身は「モスクワ」という答えを準備した。ソ連崩壊前の時代、謎の多い国の都市なら何とか質問者から逃げ切れるのではないかと踏んだのだ。同じ質問が来るわけではないのに。



さて、いよいよ私の番である。目の前の教授が質問する。

「今、1ドルは何円ですか？」

「120円前半半です。」

「それは確かですか？」

「はい、今朝もTVニュースでそのように報じていました。」

「分かりました、質問は以上です。」

1985年のプラザ合意まで遡って円相場の話を展開するまでもなく、私の面接試験は本当にこれで済んでしまった。

残り2名の質疑応答は今となっては全く思いつけない。しかし基礎医学系教授陣の質疑応答は私の心に深く刺さり、昨日の事のように覚えている。(因みに私は当時B日程で試験を受けたこの大学ではなく、A日程の母校に入学した。)大学卒後に私は脳神経外科を専攻したが、入局当時の教授は「医学は臨床と基礎研究がその両輪を担っている」とよく話されていた。私は大学院ではfMRIの臨床研究を若干行った後、解剖学教室で静脈内皮細胞の研究を行った。教室の先生方や秘書、技師の方々には本当にお世話になり感謝の念に堪えない。

さて昨年秋の医療関係のニュースで「膵癌の増殖に真菌(マラセチア)が関与している可能性」(2019年10月2日Natureオンライン版掲載論文: The fungal mycobiome promotes pancreatic oncogenesis via activation of MBL)という趣旨の見出しが目飛び込んできた。米ニューヨーク大学(NYU)のGeorge Miller教授らの論文である。詳細は原著に当たりたいが、要は腸内細菌と同様に真菌も膵管を介して膵臓内に移動し、そこで真菌叢の異常変化(マラセチア属真菌の大幅な増加)が生じる。そしてその異常な真菌叢が免疫系に影響を与えることで癌細胞の増殖に関与している可能性を示しているのである。

「ホンマかいな？」と大阪人らしい反応を示した私だった。例えば真菌では一部のアスペルギルス属が産生するカビ毒アフラトキシ

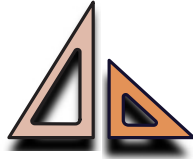
ンが肝細胞癌を引き起こすことがよく知られている。片やマラセチアといえば頭皮等の常在菌で脂漏性皮膚炎の原因となり得る、という程度の知識しか持ち合わせていなかった私は、腸管内の真菌で膵癌?と思ったのである。しかし、すぐさま「ピロリ菌と胃癌」の関係が思い浮かんだ。以前は胃内強酸性下で生息できるバクテリアなど存在しないと思われていたが、今やピロリ菌がヒトの病原細菌であろうことは議論の余地がない。ピロリ菌の持つウレアーゼや、そのゲノムがコードするCagA蛋白等の病原因子によって胃癌をはじめ様々な疾患が引き起こされる。George Miller教授らの仕事は、膵癌との関連でマラセチア真菌叢においてもその分泌物や蛋白が同様な病原性を持つことを示唆したところに妙味があるように感じた。まるで物質波を見出した物理学者ルイ・ド・ブロイ博士のような着眼点である。そう思うと感動すら覚える瞬間であった。

現在私は主に高齢者医療に携わり、微力ながらも地域医療に貢献できればと願っています。そして日常臨床に勤しみながら、臨床・基礎医学研究に携わる先生方の粘り強い研究姿勢と旺盛なる探究心に、心から敬意を抱いている次第です。

(センター試験前日、徒然なるままに。)



## 理事会報告



### ◎令和元年度 1 月定例理事会

日 時 令和 2 年 1 月 24 日〈金〉

午後 8 時～ 10 時

場 所 浪速区医師会 会議室

#### 協議事項

1. 浪速区保健福祉センターが行う令和 2 年度乳幼児健康診査等（3 歳児・1 歳 6 ヶ月児・BCG）への医師派遣依頼について

＜澤井会長＞

例年どおり、標記依頼があった。

次年度は、出務依頼日数が増えているがお願いしたいとのことであった。

協議の結果、了承。

2. 浪速区保健福祉センターが行う令和 2 年度精神保健福祉業務への出務医師の推薦について

＜澤井会長＞

例年どおり、標記派遣依頼があった。今年度の出務医師は次のとおり。

家族教室での講義

前田泰久医師（前田クリニック）

精神福祉相談出務

前田泰久医師（前田クリニック）

山本大介医師（桜川ものわすれクリニック）

次年度について、今年度同様に内諾を得ているとのことである。

協議の結果、了承。

3. 「自立支援型ケアマネジメント検討会議」の助言者となる医師について

＜澤井会長＞

地域包括支援センターより次年度の助言者となる医師の推薦依頼があった。

今年度の医師は、有田副会長、橋村理事、藤吉理事である。

協議結果、次年度については、有田副会長、藤吉理事、岡藤理事に決定した。

4. 認知症初期集中支援推進事業のチーム員医師について

＜澤井会長＞

地域包括支援センターより標記チーム員医師の推薦依頼があった。

今年度の医師は、橋本医師（はしもとクリニック）であり、次年度についても内諾を得ているとのことである。

協議の結果、次年度も橋本医師を推薦することに決定した。

5. 日本医師会主催「都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会」への出席者（1 名）について

（日時：3 月 4 日〈水〉 午後 1 時～ 4 時  
場所：大阪府医師協同組合 7F）

＜澤井会長＞

標記協議会への出席者を決めたい。

協議の結果、徳田副会長が出席することとなった。

6. 第 32 回医療情報に関する講演会の出席者について

（日時：3 月 12 日〈木〉 午後 2 時～ 4 時  
場所：府医 2F）

＜久保田副会長＞

標記講演会への出席者を決めたい。

協議の結果、澤井会長、久保田副会長が出席することとなった。

7. 令和 2 年度上半期中央急病診療所出務医師割当について

＜原田理事＞

資料のとおり、案をまとめた。

提案どおり了承。

## 8. その他

### (1) 改正点数説明会の日程について

＜澤井会長＞

協議の結果、3月25日〈水〉午後2時  
～に決定

### (2) 次年度レクリエーションの日程・ 行先について

＜川田理事＞

行先は岐阜県、日程を決めたい。

協議の結果、9月12日〈土〉～9月13  
日〈日〉に決定。

## 報告事項

### 1. 郡市区等医師会長協議会について

(1月24日〈金〉)

＜澤井会長＞

次第は次のとおり。

▷開会

▷会長挨拶

▷連絡事項

(1) ポリ塩化ビフェニル (PCB) 含有機器  
及び廃棄物適正処理の件

(2) 令和2年度特定健診・特定保健指導  
集合契約にかかる受託業務内容確認  
調査の件

(3) 令和2年度大阪府先天性風しん症候群  
対策事業（風しん抗体検査）実施の件

(4) 令和2年度医療機関ならびに勤務医  
医師賠償責任保険団体契約更新の件

(5) 令和2年度診療報酬改定に関する郡市  
区等医師会社会保険担当理事連絡協議  
会（改正点数説明会）開催の件

(6) 保険医療機関等において本人確認を  
実施する場合の方法及びその留意点の  
通知の件

(7) 令和元年台風被害による被災医療機関

等に対する支援金の件

(8) 2月度行事・会合日程の件

(9) その他

▷閉会

(詳細 略)

### 2. 大阪市医師会連合会委員会について

(1月20日〈月〉)

＜澤井会長＞

次第は次のとおり。

▷連絡事項

(1) 大阪市保健所における取扱医療機関一  
覧（風しん抗体検査事業用）にかかる  
情報漏えいの件

(2) 令和2年度大阪市肺がん検診個人票変  
更の件

(3) 大阪市各種がん検診精密検査依頼書兼  
結果報告書変更の件

(4) 大阪市骨粗しょう症健診要精検者受入  
医療機関参加基準変更及び受入医療機  
関に対する承諾書再提出の依頼の件

(5) 大阪市立小中学校における学校産業医  
への対応の件

▷連絡事項

(1) 第2回大阪市病院連絡会（東部医療圏  
および西部医療圏）(12月16日) 報  
告の件

(2) 大阪市西部保健医療協議会 (12月27  
日) の件

(3) 大阪市北部保健医療協議会 (1月9  
日) の件

(4) 大阪市東部保健医療協議会 (1月10  
日) の件

(5) 大阪市南部保健医療協議会 (1月15  
日) の件

(6) 第2回大阪市医療・病床懇話会 (1月  
16日) の件

(詳細 略)

### 3. 浪速区歯科医師会新年互礼会について

(1月11日〈土〉)

＜澤井会長＞

午後5時より天王殿にて開催された。竹



下・森山市議員や榊区長などの来賓と多数の歯科医師会会員らが出席。今期より就任された吉川歯科医師会長の挨拶、私が乾杯発声をし、開宴。眞弓歯科医師会副会長による挨拶で閉会、盛会であった。

(詳細 略)

4. 大阪市東部保健医療協議会について  
(1月10日〈金〉)

＜澤井会長＞

次第は次のとおり。

▷開会

▷議事

(1) 2019年度「地域医療構想」の進め方と進捗状況

(2) 大阪市二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況

(3) 第2回大阪市病院連絡会の結果の概要

(4) 大阪市二次医療圏における第7次医療計画（平成30年度～令和5年度）の進捗状況について

(5) 大阪府外来医療計画（素案）について

▷閉会 (詳細 略)

5. 高齢者等在宅医療・介護連携に関する相談支援事業受託法人説明会について  
(1月14日〈火〉) ＜有田副会長＞

次第は次のとおり。

▷契約書等今後のスケジュール

▷契約書及び仕様書について

▷事業対象経費の考え方について

▷各種報告書の様式について

▷その他

(詳細 略)

6. 大手前病院地域医療支援病院運営委員会について  
(1月9日〈木〉)

＜久保田副会長＞

次第は次のとおり。

▷開会

▷挨拶

▷議事

(1) 審議事項

(2) 報告事項

(3) その他

▷閉会

(詳細 略)

7. 第6回医療情報委員会について  
(1月16日〈木〉)

＜久保田副会長＞

次第は次のとおり。

▷開会

▷報告事項

(1) 大阪における日本医師会医師資格証発行率推移について

(2) その他

▷協議事項

(1) 諮問事項について

「医療における ICT 化施策への（医師会・医療機関の）対応について～オンライン資格確認、医療等 ID の導入などを見据えて」

▷その他

▷今後の日程

▷閉会

(詳細 略)



8. 在宅連携協議会について  
(1月22日〈水〉)

＜久保田副会長＞

次第は次のとおり。

- ▷ A ケアカードシステムの改善点等について
- ▷ 浪速区区役所が作成するチラシの進捗状況について
- ▷ 社会福祉協議会が作成する「浪速区高齢者の便利帳」への掲載について
- ▷ 管理工学研究所からの報告
- ▷ その他

(詳細 略)

9. 千年カルテシンポジウムについて  
(1月24日〈金〉)

＜久保田副会長＞

次第は次のとおり。

- ▷ 政府からのメッセージ
- ▷ 認定事業者（ライフデータイニシアティブ）からのメッセージ

(詳細 略)

10. 浪速区在宅医療・介護連携推進会議について  
(1月15日〈水〉)

＜橋村理事＞

次第は次のとおり。

- ▷ 在宅医療介護講演会について
- ▷ 人生会議（ACP）啓発媒体作成に向けた取組について
- ▷ 各所属での取り組みについて
- ▷ その他

(詳細 略)

11. 第4回定期地域ケア会議について  
(1月16日〈木〉)

＜橋村理事＞

次第は次のとおり。

- ▷ 浪速区高齢者課題と課題に対する取り組み（報告）
- ▷ 浪速区の現状（介護保険システムより）
- ▷ 地域ケア会議報告
- ▷ 地域別総合相談事例

▷ 令和元年度課題のまとめ  
▷ その他

(詳細 略)

12. 新年互礼会について  
(1月18日〈土〉)

＜入野理事＞

スイスホテル南海大阪 35 階「シェルブルー」において、午後6時より開催した。出席者は来賓 15 名、役員および正・副議長 18 名、一般会員 25 名、事務局 2 名、計 59 名であった。大西宏幸衆議院議員、松川い参議院議員、和田賢治大阪府議会議員、竹下隆大阪市会議員、森山貞久大阪市会議員、榊正文浪速区長から祝辞をいただき、盛会な祝宴となった。

(詳細 略)

13. 自立支援型ケアマネジメント検討会議について  
(1月8日〈木〉)

＜藤吉理事＞

次第は次のとおり。

- ▷ 検討会議の趣旨について
- ▷ 守秘義務について
- ▷ 出席者の自己紹介
- ▷ 検討事例
- ▷ まとめ

(詳細 略)

14. その他  
なし。

次回理事会

令和2年2月28日〈金〉 午後8時



## 3月度学術講演会のお知らせ

3月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：令和2年3月14日(土)

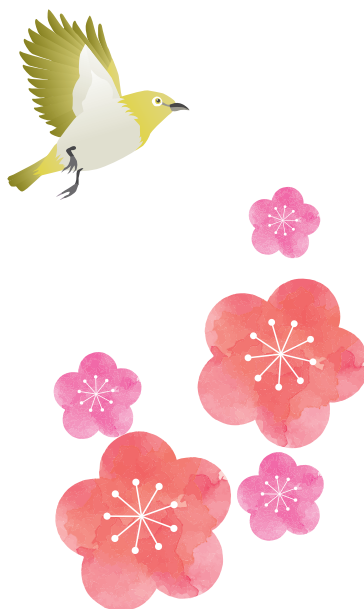
午後2時～4時

場所：一般社団法人浪速区医師会 会議室

演題：「脳梗塞治療における最近の話題  
- 血栓回収と抗凝固療法について -」

講師：大阪市立大学大学院医学研究科  
脳神経外科 有馬大紀 先生

本勉強会は、大阪府医師会生涯研修システムの対象となっておりますので、生涯教育チケットの持参をお願いいたします。



医師年金のおすすめ



# 医師には医師専用の 「医師年金」があります

医師年金 検索

<http://nenkin.med.or.jp/>

医師年金について詳しく  
知りたい

医師年金ホームページをご覧ください。  
または、下記までお問い合わせください。  
公益社団法人 日本医師会 年金・税制課  
TEL：03-3942-6487 (平日9時半～17時)

受取年金額を知りたい

医師年金ホームページでご加入時の受取年金額のシミュレーションができますのでお試しください。  
＜医師年金ホームページ＞トップページ＞シミュレーション＞

日本医師会に入会したい

入会手続きは、所属医療機関のある郡市区医師会を通じて行いますので、直接お問い合わせください。

医師年金は「日本医師会会員」で、「64歳6ヶ月未満」の方がご加入いただけます(お申込みは64歳3ヶ月まで)。

20171101S10



令和2年  
浪速区医師会  
新年互礼会

担当理事 入野宏昭

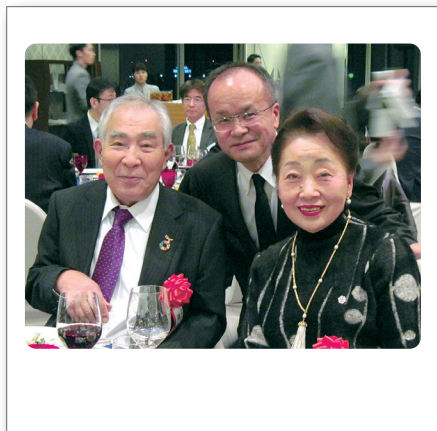
スイスホテル南海大阪 35 階「シェルブルー」において、午後6時より開催した。

出席者は来賓 15 名、役員および正・副議長 18 名、一般会員 25 名、事務局 2 名、計 59 名であった。

大西宏幸衆議院議員、松川るい参議院議員、和田賢治大阪府議会議員、竹下隆大阪市長、森山貞久大阪市長、榊正文浪速区長から祝辞をいただき、盛会な祝宴となった。









## 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室 からのお知らせ

1月に大阪市より令和2年度から3年間の相談支援室事業を委託されることになりました。

地域包括ケアおよびACP（人生会議）の推進に邁進していききたいと思います。

1月の相談件数は3件でした。在宅医に関すること、理学療法士に関すること、介護に関する相談でした。

また、在宅医療、介護において何か困ったことや問い合わせ等ありましたらご連絡ください。よろしくお願いします。



### 相談受理実績

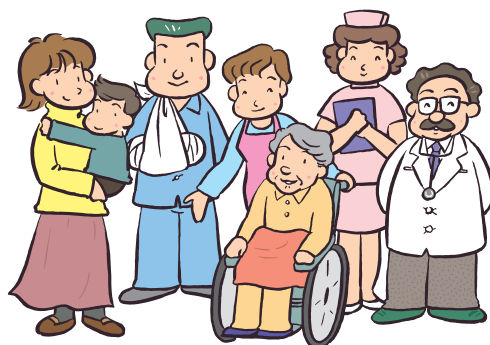
#### ■ 個別ケースに関する相談（R00.0月度）

① 医科	1件
② 歯科	0件
③ 薬局・薬剤師	0件
④ 病院 地域連携相談室	1件
⑤ 訪問看護	0件
⑥ 介護支援専門員	0件
⑦ 地域包括支援センター	1件
⑧ ⑥⑦以外の介護関係事業所	0件
⑨ 認知症初期集中支援チーム	0件
⑩ 他区在宅医療・介護連携支援室	0件
⑪ 区役所・保健福祉センター	0件
⑫ 区民	0件
⑬ その他（ ）	0件
合 計	3件

#### ■ 相談内訳（重複有）

① 医 療	① 診療所・医師に関して	2件
	② 訪問診療できる医療機関に関して	2件
	③ 病院（入院・転院先等）に関して	1件
	④ 歯科に関して	0件
	⑤ 薬局・薬剤師に関して	0件
	⑥ 訪問看護に関して	1件
	⑦ 医療の手続きに関して	0件
	⑧ その他	0件
② 介 護	① ケアマネに関して	0件
	② 地域包括支援センターに関して	0件
	③ 介護事業所等に関して	0件
	④ 介護の手続きに関して	0件
	⑤ その他	0件
	③ 退院支援に関して	2件
	④ 看取りに関して	1件
	⑤ その他（内容： ）	0件
	合 計	9件

<お問合せ> 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室  
〒556-0022 大阪市浪速区桜川 4-11-16 アリタビル50B  
TEL:070-1760-4964 FAX:06-6567-8058



## 浪速区医師会 活動の伝言板

令和2年3月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 3歳児健康診査

- 保健福祉センター  
3月26日(木)午後1時40分～3時30分  
小児科 本田 秀明  
愛染橋病院  
眼科 山尾 信吾  
耳鼻科 中村 泰久

### BCG接種

- 保健福祉センター  
3月19日(木)午後2時～3時30分  
本田 秀明・北村 栄作

### 1歳6ヶ月児健康診査

- 保健福祉センター  
3月5日(木)午後1時40分～3時30分  
小児科 橋村 夏野子

### 急病診療所出務

- 中央急病診療所  
3月16日(月)深夜22:00～30:00  
中山 博文  
3月29日(日)準夜17:00～22:00  
菱川 秀夫・西平 香代
- 今里休日急病診療所  
3月8日(日)10:00～17:00  
井上 宏之



## 大阪府医師信用組合『いししん』は医師会員の専門金融機関です。

組合員にご加入いただき、当組合のサービス(預金・ローン・お振込み等)を是非ご利用ください。

<p><b>オートローン</b> <small>金利優待</small></p> <p>自動車購入資金やディーラーローンお借換えに。</p> <p><b>無担保型</b> <b>変動金利 年1.0%</b> <small>2020年3月末まで</small>  <b>限度額 1,000万円</b> <b>期間 7年以内</b></p> <p>※ 個人名義で500万円以下のお申込みの場合、原則連帯保証人不要です。</p>	<p><b>教育ローン</b> <small>保証料不要</small></p> <p>お子様の教育に関する資金に。</p> <p><b>無担保型</b> <b>変動金利 年2.475%</b>  <b>限度額 3,000万円</b> <b>期間 20年以内</b></p> <p><b>有担保型</b> <b>変動金利 年1.775%</b>  <b>限度額 5,000万円</b> <b>期間 20年以内</b></p>	<p><b>フリーローン</b> <small>保証料不要</small></p> <p>旅行資金、ゴルフやリゾート会員権購入、結婚資金等に。</p> <p><b>無担保型</b> <b>限度額 1,000万円</b> <b>期間 10年以内</b></p> <p>※ 診療所の運転資金、設備資金等の事業性資金にはご利用いただけません。          ※ ローン金利はお問い合わせください。</p>
<p><b>新規開業ローン</b> <small>保証料不要</small></p> <p>診療所開業に伴う土地購入、テナント敷金等に。</p> <p><b>無担保型</b> <b>限度額 5,000万円</b> <b>期間 20年以内</b></p> <p><b>有担保型</b> <b>限度額 2億円</b> <b>期間 35年以内</b></p>	<p><b>診療所ステップアップローン</b> <small>保証料不要</small></p> <p>いししんはクリニックの経営を応援します。</p> <p><b>無担保型</b> <b>限度額 5,000万円</b> <b>期間 20年以内</b></p> <p><b>有担保型</b> <b>限度額 3億円</b> <b>期間 35年以内</b></p>	<p><b>住宅リフォームローン</b> <small>保証料不要</small></p> <p>自宅のリフォーム、住宅の耐震、バリアフリー工事等に。</p> <p><b>無担保型</b> <b>変動金利 年1.075%</b>  <b>限度額 5,000万円</b> <b>期間 20年以内</b></p> <p>※ 当初5年間、当初10年間の固定金利型もご用意しています。</p>

※表示金利は2020年2月にお借入れいただく場合の適用金利です。お申込時ではなく、実際に借入いただく日の金利が適用されます。※原則として、ご返済終了時にお借入れされる方の年齢が満75歳を超える期間でのお申込みはお受けできません。※ローンには審査がございます。審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。何卒ご了承ください。※上記のローン以外にもローン商品を取り揃えております。詳細については下記の「融資お問合わせ専用番号」までお問い合わせください。担当者が勤務先に訪問することも可能です。お気軽にご相談ください。

## 大阪府医師信用組合

〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町19-14  
(大阪府医師会保健医療センター1階)

融資  
お問合わせ  
専用番号

担当者による訪問も可能です。  
**0120-947-604**  
営業時間 9:00～17:00 / 土・日・祝 休み

いししん **検索**  
<http://www.odcu.co.jp>  
ホームページ用QRコード





## あとがき

山田 郁子

この冬は、記録的な暖冬となっています。その影響もあるのでしょうか、例年と比べ、インフルエンザ感染がかなり少なくなっています。そして現在、日本中の関心は新型コロナウイルス（COVID-19）です。テレビ、新聞、ラジオ、ネットニュース、普段の会話など、あやしいうわさ話も盛り込まれながら、新型コロナウイルス関連のニュースであふれています。

新型コロナウイルスの感染者数や状況については日々更新されていますので、総括はもっと先のことになるでしょうが、2020年2月18日の時点でWHOの発表では致死率はSARSより低い2%、軽症が8割とのことでした。その発表を聞くと恐れすぎなくてもいいように思えてきますが、新しい正体がつかめない疾患に対して恐れてしまうのが人間というものです。

これまで、大阪、とくにミナミには多くの中国人旅行者が訪れていましたが、新型コロナウイルスが周知となったのち、中国人旅行者の姿はほとんど見かけなくなり、日本人もミナミへの行き控えをしていると聞きます。この地で開業して10年になりますが、こんなに閑散とした雰囲気は初めてです。また、マスク装着率の高さにも驚きです。訪問診療途中、車で黒門市場を横切りますが、客の流れで通行できなかったところが、今はすいすいです。近くにお住いの患者さんも黒門市場を自転車で走れたのは初めての経験だそうです。

巻頭言で金雄一先生が受験エピソードを書いてくださいました。「ペニシリンを発見された細菌学者はおそらく何億人という人間を救ったとは思いませんか？」すばらしい面接だと思いました。その受験生にとっては答えにくい厳しい質問であったでしょうが、この

面接で、これからの医者として生きる上でのアドバイスもなされており、30年以上前のエピソードをこの巻頭言で教えていただいた私たちも改めて「医学は臨床と基礎研究がその両輪を担っている」ことを考えさせていただきました。そして、金先生への「今1ドル何円ですか」という質問、奥の深い質問だなあと思った反面、最初の受験生への質問との相違に、なんでここでこの質問やねん！と思わずつっこんでしまいました。

新型コロナウイルス感染は臨床症状だけでは診断はつきません。臨床の限界です。簡易な検査キットやワクチンなどの早期の開発を望む声も多くありますが、これもまた基礎研究ありきの開発です。まさに、臨床と基礎研究が両輪を担い、ウイルスに対応していかなければならないことを実感します。

重症患者さんの早期の回復、新型コロナウイルス流行のできるだけ早い収束、活気あるミナミの復活を望みつつ、あとがきを終わさせていただきます。



## 目次

ページ

### 巻頭言

受験シーズン四方山話	金 雄一	1
理事会報告（1月開催）		3
3月度学術講演会のお知らせ		7
新年互礼会	入野 宏昭	8
浪速区在宅医療・介護連携相談支援室からのお知らせ		10
浪速区医師会活動の伝言板		11
あとがき		12

### 【区医だより】

発行者 澤井貞子  
編集者 中村泰久 藤吉理夫  
印刷所 株式会社 サ ビ